



 公益財団法人トヨタ財団

2019 年度国内助成プログラム 募集要項

未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ
—地域に開かれた活力ある課題解決の仕組みを通じて—

- 助成カテゴリー
- A. しらべる助成
 - B. そだてる助成
 - C. 発信・提言助成

応募期間 2019年8月19日(月)午前9時～9月30日(月)午後3時

※本要項は、「A. しらべる助成」および「B. そだてる助成」の募集に関するものです。

「C. 発信・提言助成」の募集については、応募対象となる団体に事務局より個別にご案内致します。



トヨタ財団の基本的な考え方

トヨタ財団は「人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資する」ことを基本理念とする助成財団です。生活・自然環境、社会福祉、教育・文化を主要な領域として、多様な領域における課題を的確に捉えるため、これらに関する研究ならびに事業に助成を行っています。財団の活動では、その初期より「先見性 (foresight)」、「市民性 (participatory orientation)」、「国際性 (international perspective)」という3つの方向性を指標として、これらに沿って助成を実施することを基本的な考え方としてきました。

こうした基本的な考えを踏まえ、トヨタ財団では本年度より下記の点を満たすものを助成の対象とします。

1. 社会的な意義が大きいこと
2. 内外の課題を先取りするものであること
3. 未来志向であること
4. 持続可能性、発展可能性があること
5. 波及効果が期待されること

1 プログラムの趣旨



私たちの暮らしの場である地域社会は、地方／大都市圏を問わず、コミュニティの持続可能性の危機への対応が急務となっています。

この背景には、高齢化や人口変動に伴う問題が存在しており、将来的には世代間および地域間の不均衡がさらに大きくなることが現実味を帯びています。

他方で、国籍や文化、価値観、生活習慣など多様な背景を持つ人々が安心、安全に暮らせる環境を実現していくこともコミュニティの持続可能性において一段と重要になっています。

このような問題意識に基づき、国内助成プログラムでは、2014年度から持続可能なコミュニティの創造に向けて、多様な主体が参加する仕事づくりやその担い手の育成をめざす事業に対する助成（＝そだてる助成）を行ってきました。

さらに、助成を通じて、事業の実施には課題の構造を捉えたりステークホルダーとの関係性を構築したりするプロセスが重要であるとの考えを改めて強く持ち、2016年度には事業の戦略立案までを含む調査活動に対する助成（＝しらべる助成）を開始しました。

現在は、非公募型で実施している政策提言や社会提案などを目的とする取り組みへの助成（＝発信・提言助成）を含めて、3つのカテゴリーで助成を行っています。

2019年度は、地域を支える多様な主体の参加や長期的な担い手育成の視点を継承しつつ、地域の課題を解決していく具体の仕組みを創出する視点を重視し、テーマを「**未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ 一地域に開かれた活力ある課題解決の仕組みを通じて一**」とします。

また、「地域活性化」および「人材育成」の重要性を踏まえ、「持続可能な事業の創出や展開」および「地域の将来を担う人材を育てる教育の在り方の提案や試行」を重点領域とします。

日本社会が直面する課題を乗り越え、さらにはその在り方を問い直して新しい価値の提案や創造につながるような先駆性や躍動感ある営みが、全国各地で展開されることを期待しています。



2 助成の枠組み

	A.しらべる助成	B.そだてる助成	C.発信・提言助成
募集方法	公募（※本要項の対象）		事務局より直接案内
助成の対象となるプロジェクト	「プログラムの趣旨」および「A.しらべる助成で期待すること」に該当する調査活動	「プログラムの趣旨」および「B.そだてる助成で期待すること」に該当する事業	過去のプロジェクトに関連する成果に基づき、政策提言や社会提案などを目的とする取り組み
助成の対象となる団体	40代までのメンバー1名以上を含む、プロジェクト実施に必要な人材や組織で構成されたチーム ※プロジェクト実施にあたり運営の中心を担う組織の法人格の有無や種類は問いません。		過去（2009年度以降）の国内助成プログラム助成対象者
助成期間	2020.4.1～2021.3.31 （1年間）	2020.4.1～2022.3.31 （2年間）	2020.4.1～2021.3.31 （1年間）
助成金額	上限 100万円/件	上限なし/件	上限 600万円/件
助成総額	1億1,000万円（目安）		
	約2,000万円	約8,000万円	約1,000万円
助成の対象費目	人件費や事務局諸経費を含むプロジェクト実施に必要な費用 ※詳細は企画書（書式）の末尾に貼付している一覧表をご確認ください。		

A.しらべる助成で期待すること

- ▶ ここで言う「しらべる」とは、アンケート／インタビュー調査や既存資料の分析などを行うだけでなく、その結果を踏まえた**事業戦略の立案までを含めた取り組み**を意味しています。
- ▶ 持続可能なコミュニティの創造に向けては、地域や人々を取り巻く環境や生じている課題を明らかにし、実態を捉えた上で具体的方策を実行するプロセスが重要と考えています。
- ▶ **調査のための調査や調査の実施のみで完結しない、具体的方策につなげるための調査活動**を助成の対象とします。（なお、付随する取り組みとして、社会への発信、ステークホルダーとの関係構築、パイロット事業の実施なども企画いただいて構いません。）

B.そだてる助成で期待すること

- ▶ ここで言う「そだてる」とは、自組織の成長や発展のみに裨益する事業を創り出すことではなく、**地域に関わる多様な人々や組織と共に課題解決の仕組みづくりや未来の担い手育成に取組むことを通じて地域の生態系が育つこと**を意味しています。
- ▶ 持続可能なコミュニティの創造に向けた具体的方策を実行するにあたっては、広く参加を促進したり、主体的に活動する仲間を増やしたりすることが重要と考えています。
- ▶ **多様な市民や専門性を有した人材／組織を巻き込み、地域に関わる一人ひとりの当事者性が生まれ、取り組みの成果が地域に還元されていく展望に立った事業**を助成の対象とします。

上記に加えて、何れの助成においても、プログラムの趣旨に基づき、**持続可能性や発展可能性を確保するため、地域の自治体、大学等の教育機関、公的団体、社会貢献に取り組んでいる企業等との連携が図られているプロジェクト**を助成対象として優先的に採択します。

また、地域活性化に資する地域での**産品・技術開発**も対象とします。

3 応募について



◆ 応募期間

2019年8月19日（月）午前9時～9月30日（月）午後3時

◆ 応募方法

以下のプロセスをご参照の上、トヨタ財団のウェブサイト (<http://www.toyotafound.or.jp/>) 内よりご応募ください。

1. 応募者情報の登録	トヨタ財団のウェブサイト (http://www.toyotafound.or.jp/) にアクセスし、「国内助成プログラム」の「2019年度」ページ内にある【応募の受付はこちら】よりウェブ応募ページに進み、応募者情報の登録（氏名、電子メールアドレス、パスワードを入力）を行ってください。
2. 応募書類の入手	応募者情報の登録完了後、ご登録いただいた電子メールアドレス宛に通知される URL より応募者専用ページにログインし、「基本情報」(Excel) および「企画書」(Word) の書式をダウンロードしてください。
3. 応募書類の作成	基本情報および企画書に必要な事項を記入し、応募書類を作成してください。（企画内容についてのご相談がある場合は、 <u>9月24日（火）までに事務局までお問い合わせください。</u> ）
4. 応募書類の提出	応募者専用ページより、基本情報および企画書を送信（アップロード）してください。 ※応募書類の受付後、応募者情報でご登録いただいた電子メールアドレス宛に、応募完了の通知を送信します。通知が届いていない場合は事務局まで速やかにお問い合わせください。 ※応募書類の提出後、アンケートにご協力をお願いします（任意）。

※各プロセスでの具体的な作業にあたっては、ウェブ応募ページ内に記載している説明も併せてご参照ください。

◆ 応募にあたっての注意事項

- ・ 電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。
- ・ 応募書類を提出いただく際に、基本情報および企画書以外の資料は不要です。
- ・ 基本情報および企画書の 差し替えは受け付けられませんので、送信前に必ずご確認ください。
- ・ 送信した基本情報および企画書のデータは、選考結果が通知されるまで必ず保管ください。
- ・ 応募締切（2019年9月30日（月）午後3時）の直前は、回線が混雑し送信できない可能性がありますので、お早めにご応募ください。



4 選考について

◆ 選考方法

選考は、学識経験者および NPO 関係者で構成する「国内助成プログラム選考委員会」（委員長 飯盛義徳（慶應義塾大学 総合政策学部 教授）、以下 5 名）にて行い、当財団の理事会で最終決定を致します。

なお、選考過程において国内助成プログラム担当のプログラムオフィサーによるヒアリング（訪問、電話やメールによる聞き取り調査）をさせていただく場合があります。

◆ 選考基準

選考基準は、以下のとおりです。

- (1) 応募者が P2「2 助成の枠組み『助成の対象となる団体』」の要件を満たしているか。
- (2) 応募するプロジェクトが、P1「トヨタ財団の基本的な考え方」および P2「2 助成の枠組み『助成の対象となるプロジェクト』」に合致し、未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティづくりにおいて重要か。
- (3) 応募するプロジェクトが以下の点で高く評価されるか。

A.しらべる助成

- ① 地域の現状に対する問題意識が明確で、調査で明らかにしたい仮説に妥当性があるか
- ② 仮説を明らかにするための調査内容や手法が適切であるか
- ③ 実施体制、スケジュール、予算が十分に考えられているか
- ④ 調査結果を踏まえた事業化への道筋に具体性や説得力があるか

B.そだてる助成

- ① プロジェクトの目的や実施内容が、地域の実態を捉えた企画として相応しいか
- ② 実施体制、スケジュール、予算が十分に考えられているか
- ③ プロジェクトを通じた成果目標や助成終了後の計画（主に継続性）に具体性があるか
- ④ 多様な主体と共に取り組む事業を通じて地域の生態系が育ち、他の地域への波及効果や、社会の新しい価値の提案や創造につながることを期待できるか

◆ 選考結果

選考結果は、応募者情報でご登録いただいた電子メールアドレス宛に、2020 年 3 月末までにお知らせします。

※応募者情報でご登録いただいた電子メールアドレスに変更があった場合は、速やかに当財団までお知らせください。

※採否の理由を含む選考に関わる内容に対してのお問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

◆ 助成内容

助成内容は、選考委員会での選考を経て決定致します。助成金額が応募金額よりも減額または増額となる場合や、実施内容の一部修正についてご相談したりする場合があります。

(ご参考)「B.そだてる助成」は助成金額の上限を特に設けていませんが、過去3年度の助成金額の平均は654万円となっています。

◆ 自主財源の充当や他の補助金・助成金の獲得について

プロジェクト実施にあたり、自主財源を充当する割合について指定はありません。

なお、同一プロジェクトの同一費目に対して、他の補助金・助成金との重複助成はできません。他からの補助や助成が決まった場合は、当財団まで速やかにご連絡ください。

(参考：2019年度助成の選考スケジュール概要)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
募集告知		応募受付期間		書類審査		ヒアリング・選考委員会		選考結果通知	助成金贈呈式 助成金第一回 送金

5 当財団とのコミュニケーション

助成期間中は、下記の表のとおり定期的な報告に加え、当財団の担当者と密にコミュニケーションを取りながらプロジェクトを進めるようご留意ください。特に、プロジェクトの主要なイベント開催や成果物の公表などの際には、必ずお知らせください。当財団の担当者も可能な限り現場を訪問し、プロジェクトの支援の充実および今後のプログラムの改善に役立たせていきます。

また、助成期間終了後も2～3年を目途に、当財団の助成の質を上げ、プログラムの改善などを行う目的で報告をお願いすることがありますので、その際にご協力をお願いします。

◆ 助成開始後のスケジュール

項目	内容	時期	
		しらべる助成	そだてる助成
覚書の締結	助成対象プロジェクトの実施にあたりトヨタ財団と助成対象者間で取り交わし	2020年4月上旬	
助成金贈呈式	都内にて助成金贈呈書の贈呈、プロジェクト紹介、助成対象者同士の情報交流		
助成金 第1回送金*1	団体指定の銀行口座に振込		
月報	ウェブ上のフォームにて簡易報告を作成	隔月上旬	
経過報告書	所定の書式にて作成し提出（※そだてる助成のみ）	2021年 3月末迄	
実施報告書	所定の書式にて作成し提出	2021年 4月末迄	2022年 4月末迄
会計報告	専用ウェブシステムより支出明細を入力 領収書（対象費目：支出額1万円以上）の原本提出	2021年 4月末迄	助成開始後 6ヶ月毎*2
現地訪問	担当プログラムオフィサーが助成期間中にプロジェクト実施地域を訪問しての進捗確認など	団体毎に個別調整	
中間報告会*3	プロジェクトの進捗報告、助成対象者同士でのグループディスカッションなど	2020年 8月末頃	2021年 4月上旬
成果報告会*3	プロジェクトの成果報告（選考委員やトヨタ財団の理事など関係者も一同に会しての開催を予定）	2021年 5月頃	2022年 5月頃
ワークショップ等*3	プロジェクトや団体の今後の展開・発展に向けて、別途テーマを設定して開催	必要に応じて調整	

*1：覚書の締結と専用ウェブシステムでの助成手続きが完了後、しらべる助成は「全額を一括送金」、そだてる助成は「4分割の第1回目分を送金（残り3回分は6ヶ月ごとの会計報告の確認を踏まえて送金）」します。

*2：6ヶ月毎の会計報告を翌月中旬迄に報告いただきます。（例：2020年4月～9月分を10月中旬迄に報告）

*3：中間／成果報告会、ワークショップ等の参加にあたっては1名分の旅費を補助します。





6 その他



◆ 個人情報の取り扱いについて

応募時に提出いただいた個人情報は、「公益財団法人トヨタ財団 個人情報保護方針」に則り、本プログラムの選考に関わる業務に利用致します。

なお、助成対象となったプロジェクトについては、団体名、代表者氏名、所在地、実施内容（企画題目や取り組みの概要など）、助成金額を当財団のウェブサイトや印刷物において公表させていただきます。

◆ 助成の対象となる団体（要件）の補足

プロジェクト実施に必要な人材や組織で構成されたチームが、「目的や活動内容が特定の政治・宗教などに偏っていないこと」および「反社会的勢力とは一切関わりがないこと」をご確認ください。

◆ 成果報告書（公表用資料）

助成対象プロジェクトの実施報告書を基に、公表用資料として「成果報告書」を作成しています。これまでに発行した成果報告書は、トヨタ財団ウェブサイト内でご覧いただけます。

◆ トヨタ NPO カレッジ「カイケツ」

助成対象となられた方は、トヨタ自動車株式会社等の協力を得て実施しているトヨタ NPO カレッジ「カイケツ」を優先的に受講いただけます。

◆ トヨタ財団の助成プログラムについて

2019 年度に公募を行うプログラムは以下のとおりです。国内助成プログラム以外の 4 つのプログラムについては、以下の情報をご参考いただき、詳細は各プログラムのウェブページよりご確認ください。

● 特定課題（以下 2 種類のテーマで助成を実施）

テ ー マ：先端技術と共創する新たな人間社会

募集時期：2019 年 9 月～11 月（予定）

助成総額：4,000 万円（目安）（1 件当たりの助成金額：500～1,000 万円程度）

U R L：<http://www.toyotafound.or.jp/special/advanced.html>

テ ー マ：外国人受入れに関する助成（仮） ※新規プログラム

募集時期：2019 年 9 月～11 月（予定）

助成総額：4,000 万円（目安）

U R L：<http://www.toyotafound.or.jp/special/foreigners.html>

●研究助成プログラム

テ ー マ：社会の新たな価値の創出をめざして

募集時期：2019年7月～9月（予定）

助成総額：6,000万円（目安）（1件当たりの助成金額：上限800万円）

U R L：http://www.toyotafound.or.jp/research/2019/

●国際助成プログラム ※2019年度の募集は終了しています。

テ ー マ：アジアの共通課題と相互交流 「学びあいから共感へ」

募集時期：2019年4月15日（月）～6月8日（土）

助成総額：7,000万円（目安）（1件当たりの助成金額：上限500万円／年、最長2年）

U R L：http://www.toyotafound.or.jp/international/2019/

◆ 問い合わせ先

応募にあたってのご相談・ご質問がございましたら、末尾の事務局宛にお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム 担当：武藤、比田井、石井

〒163-0437 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル37階

TEL：03-3344-1701（月～金曜日（祝祭日を除く）10：00～17：00） / FAX：03-3342-6911

Email：gp4ca@toyotafound.or.jp

URL http://www.toyotafound.or.jp/

